



2019年度 第2回例会 「データサイエンスの成功事例」

公式CPD：2.0単位
<IT>

今回はリチャード・シュウ氏を講師に迎え、元受生保会社におけるデータサイエンスの活用事例を、成功例を中心にご講演いただきます。

データサイエンスを生命保険に応用する必要性がこれまで以上に増加する中、生命保険会社の多数がデータサイエンスに資本を投下しつつあり、多くの課題に直面しています。

- ・データ分析の重要性とチームを形成する方法
- ・保険ビジネスにおけるデータサイエンスの成功事例
- ・実務におけるデータ分析の応用例
- ・アクチュアリーが果たす重要な役割

データサイエンスは保険ビジネスのバリューチェーン全体に応用することが可能です。とくに、アクチュアリーはデータサイエンスの最新事情を常に把握すべきです。業務の上で、または自分のキャリアの可能性を高める上で役立っていくでしょう。

- ◆日時 : 2019年7月17日(水) 17:00 ~ 19:00
 - ◆会場 : TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール13A (定員 400名程度)
 - ◆講師 : リチャード・シュウ氏 (RGA/ヴァイス・プレジデント&アクチュアリー)
※英語での講演となります。当日は日本語通訳があります。
 - ◆参加申込 : 7月10日(水)までに当会Webサイトの会員サイトにログインし、会員ごとにお申し込みください。
→画面中央の「申し込み・アンケートのお知らせ」タブをクリック
→「2019年度第2回例会参加申し込み」をクリック
→所属先や連絡先に必要事項を設問に沿って入力
→設問画面最下部の「回答」ボタンをクリックして完了
- 定員を超えるお申し込みがあった場合に、参加者の抽選を行う・事前連絡なしに締切日を早める等の必要な対応を行う場合がございますので、予めご了承ください。**
参加を強く希望される方は、お早めにお申し込みをお願いいたします。
- ◆講義資料 : 当会Webサイトの会員サイトからダウンロードしてご持参ください(7月10日(水)頃掲載予定)。
当日の資料配布はございません。
 - ◆その他 : 公式CPDの対象となります。正会員の方は出席確認のため、CPDカードを忘れずにご持参ください。

講師プロフィール

リチャード・シュウ氏 (RGA/ヴァイス・プレジデント&アクチュアリー)



リチャード・シュウ氏は、RGAのヴァイス・プレジデント&アクチュアリーであり、グローバル・リサーチ&データ・アナリティクス部門のヘッド・オブ・データ・サイエンスを務められています。保険データの統計モデリングのグローバルなアプリケーションの開発を担当し、データに基づいたビジネス・ソリューションをRGAのお客様にご提供されています。

シュウ氏は、これまでのキャリアにおいて、アンダーライティング、アップセルおよびクロスセル、経験値分析、プライシング、リスク選択、不正検出、責任準備金およびシミュレーションなど、非常に広範囲におよぶプロジェクトで様々な保険商品に携わり、多数の統計モデルを開発されてきました。

米国アクチュアリー会の正会員であり、保険業界の様々な会議やセミナーで多数講演を行うとともに、記事や論文も数多く執筆しています。

また、メリルビル大学セントルイス校(米国)の非常勤講師として、予測モデリングの応用について教えています。

会場のご案内



TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール13A

東京都港区赤坂2-14-27

国際新赤坂ビル東館

(東京メトロ千代田線 赤坂駅5a出口より徒歩1分)

お問い合わせ: 日本アクチュアリー会 事務局 荒岡・尾花

TEL 03-5548-6033

Email araoka@actuaries.jp

ohana@actuaries.jp